



中学生が区政に関する政策を提言！ ～ 「練馬子ども議会」を開催～

と き 8月3日(月) 午後2時～3時

と ころ 練馬区役所西庁舎 議場 (豊玉北6-12-1)

3日、区内の中学生37名が子ども議員として参加する「練馬子ども議会」が練馬区議会議場(豊玉北6丁目)で開催された。

今年のテーマは「快適な環境づくりと学校外生活の充実」。子ども議員は、9～10人ずつの4グループに分かれ「民有地の緑の減少を食い止める方法」、「リサイクルの推進」、「放課後・休日の居場所づくり」、「中高生の居場所となる講座づくり」について政策を提言し、前川耀男練馬区長が講評を行った。

政策提言を迎えるまでに、子ども議員は、学習会を3回実施。実際に地域に出かけて調査を行い、気づいた課題について、討議を重ねてきた。来年の春には、子ども議員の政策提言が区政にどのように反映されているのか、対応・取組調査を行う予定。



【政策を提言】



【政策を提言】

【当日の様子】

午後2時、子ども議員は緊張した表情で本会議場に集合した。子ども議員の中から選出された議長役の生徒(区立大泉学園中学校3年生)が開会宣言を行い、練馬子ども議会が開会した。

今年は、「快適な環境づくりと学校外生活の充実」をテーマとし、区民が豊かに生活するための取り組みや、自分たちの身近な課題に関する政策を提言した。

前川耀男練馬区長は、子ども議員の政策提言に対して、「とても面白い視点の政策でした。具体的でリアルな問題意識を持ち続けることは難しいのですが、今後も正義感をもって行動してほしいと思います。」と講評した。

【政策提言の内容】

民有地の緑の減少を食い止める方法

(1)「練馬みどりの葉っぱい基金」活動の充実を図る。(2)樹林地の所有者を支援する取組みを充実する。(3)子供の頃からみどりに接する機会を設け、関心を高める。

リサイクルの推進

(1)リサイクルセンターの認知度を高める。(2)子供たちのリサイクルに対する意識不足を解消する。放課後・休日の居場所づくり。

(1)児童館は中高生でも利用できることをアピールする。(2)小学校のひろば事業に中学生がボランティアとして参加できるようにする。(3)中学校に学校応援団ひろば事業を設置する。

中高生の居場所となる講座づくり。

(1)中高生向けの講座やイベントについて、中高生限定の講座を増やす。(2)中高生の居場所ともなる児童館の知名度を高める。(3)中高生に届く情報の仕組みを作る。

【練馬子ども議会とは】

「練馬子ども議会」は、21世紀幕開け事業の一つとして、平成13年8月1日に区内在住の小・中学生が参加して初めて行われた。子どもらしい視点からの質問や意見を区が聴取する機会として、平成16年からは毎年開催されており、今年で13回目となる。